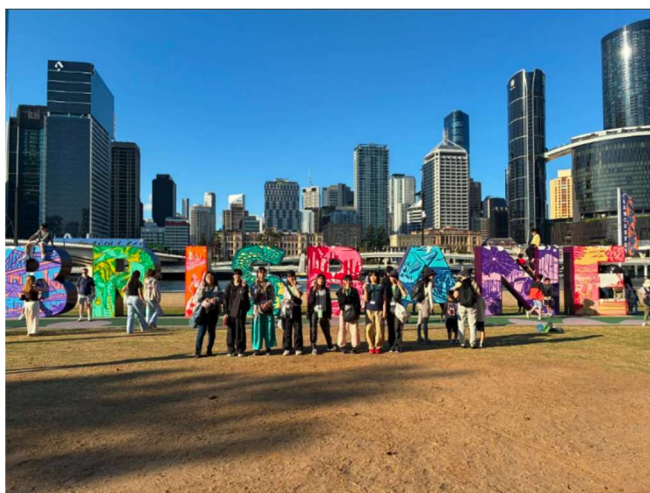
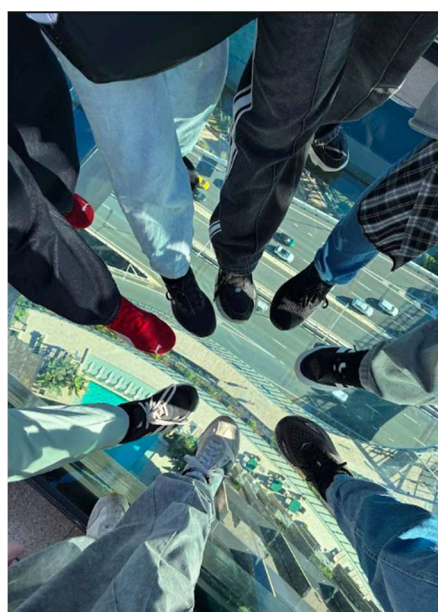


令和 8 年度

南幌町中学生国際留学プログラム事業

報告書



8/2-8/11 Brisbane, Australia

南幌町では、次代を担う中学生を海外に派遣し、外国での語学研修やホームステイ体験を通じ、国際性豊かな人材を育成することを目的に「南幌町中学生国際留学プログラム事業」をスタートしました。

海外派遣10回目となった本年度の派遣はオーストラリア、南幌中学校の生徒8名に決まりました。派遣期間は8月2日から11日までの10日間。派遣者は、オーストラリアの情報や、ホームステイの心得などの事前研修を全3回を受け、海外研修に備えました。

本書は、クイーンズランド州ブリスベンにおいて、現地のシャフストン・インターナショナル・カレッジでの語学研修、現地校交流による地元の同世代の子たちとの交流、実際に野生の動物と触れ合う体験、ホームステイによる生活など様々な体験をした生徒たちの報告書です。



目次

派遣生徒の報告書

・・・・・・・・・・

1

【報告者】

山内実倫・菅原彩音・村上蒼莉・谷口愛菜

伏見遥花・落合恵唯・三浦朋莉・和田菜々美

地図

・・・・・・・・・・

18

行程表

・・・・・・・・・・

19

オーストラリア留学を振り返って

南幌中学校3年 山内 実倫

私は今回、十日間のオーストラリア留学を経験しました。留学に行く前は、英語を上手に話せるようになりたいという気持ちがありました。また、英語だけでなく、日本とは違う文化や生活、自然についても実際に見たり体験したりして学びたいと思っていました。

楽しい気持ちがある一方で、英語にあまり自信がなく、現地の人ときちんと会話できるのかという不安もありました。しかし、実際に現地で過ごしてみると、沢山の経験をするこ

ができ、自分自身も少し自信を持てるようになったと思います。

ホームステイ先は、中国系の家族の家でした。家族には年下の娘さんが二人いて、一緒に過ごす中で日本とは少し異なる生活を知ることができました。最初は英語で話すことに緊張しましたが、簡単な英語を使ったり、身振りを加えたりすることで少しずつ会話することができました。英語が完璧でなくても、自分から伝えようとするこ

とが大切なのだと感じました。

学校では、オーストラリアに関する英語レッスンを受けた。英語で映画を見たりしました。また、パンケーキを作ったり、現地の学生と交流したりする機会もありました。特に印象に残っているのは、学校にオーストラリア固有の動物が来て、実際に触れあったことです。日本ではなかなかできないような体験だったので、とても楽しかったです。ただ説明を聞くだけでなく、実際に動物を見たり触ったりしたこと、オーストラリアの自然を身近に感じることでできました。

また、ブリスベンやゴールドコーストでは、日本とは違う景色や街の雰囲気を実際に見て肌で感じられました。写真で見るとは違う魅力や迫力を感じられ、とても新鮮でした。観光をするだけでなく、現地の人々の

生活にも目を向けることで、オーストラリアについてより深く知ることができたと思います。

生活面でも、日本との違いをいくつか発見できました。例えば、トイレのマークの色が日本と違っていたことが印象に残っています。日本では男女で異なる色が使われていることがほとんどですが、オーストラリアでは赤と赤、青と青のように男女で同じ色なことがほとんどでした。普段ならあまり気にしていませんでしたが、国によって身近なものの表し方にも大きな違いがあることに気づくことができました。また、外にはほ



ば自動販売機がなかったことに驚きました。学校内には飲料だけでなく、お菓子の自販機もあるのはすごく羨ましいなと思いました。日本では飲み物を買うときに自販機を見つけることが多いので当たり前だと思っただけなのに海外では当たり前ではないことに気づけました。さらに現地では日本より寝る時間が早く生活リズムの違いも感じました。このように、実際に生活してみたからこそ気づくことがたくさんありました。

英語については、最初はどうも発音ができず、自分が伝えたいことと相手が受け取ったことが少し食い違ってしまうこともありましたが、その時は「もっと英語を勉強しなきゃ」と感じました。しかし、そこで難しい単語を無理に使うのではなく、自分が知っている簡単な単語を組

み合わせて伝えることを意識するようにしました。すると、完全に正しい英文を作れなくても、自分の意見を正確に伝えられる場面が増えていきました。また、留学前よりもリスニング力が高まったと感じています。現地では毎日のように英語を聞くため、最初は聞き取れなかった言葉も少しずつニュアンスをなんとなく理解できるようになりました。全ての単語を知っている内容から何を言っているのかを考えることができるようになったことは、自分にとって大きな成長でした。

そして今回の留学で一番変わったと思うのは自分から行動することができるようになったことです。最初は間違えてしまわないかと英語を自ら話すことをためらってしまうことがありま

した。しかし、現地では自分から話しかけなければ会話が始まりません。最初はかなり緊張しましたが、勇気を出して話しかけたり、積極的に発言したりすることで、会話ができたときの楽しさを知りました。間違いを恐れて何もしないよりも、失敗してもいいから伝えようと挑戦してみる大切なのだと学びました。

この十日間を通して、私は英語の知識だけでなくコミュニケーション能力も身に付けることができましたと思います。これから今回身に付いたリスニング力を英検準二級の勉強にも活かしたいです。また、受検や普段の授業で知らない単語が出てきたときにも、前後の文章や知っている言葉から意味を予想する力を活用したいと思います。

今回のオーストラリアの留学は、私にとって英語を学ぶだけの十日間ではありませんでした。日本とは異なる文化や生活を知り、新しいことに挑戦し、自分から行動する大切さを学ぶことができました。最初は不安もありましたが、勇気を出して一歩踏み出したことでたくさん貴重な経験をすることができました。この経験をこれからの学校生活や受験、そして将来にも生かしていきたいです。



オーストラリア短期留学プロジェクト

南幌中学校1年 菅原 彩音

まず私が一番楽しかったことは、オーストラリアの野生動物プレゼンテーションでした。なぜなら初めて触る生き物で、生き物が好きな私にとってはとても幸せな時間でした。特に触って面白くて可愛かったのが、一番最初のエリマキトカゲでした。エリマキトカゲはよくテレビなどで目にしましたが、実際に近くで見たり触ることができてとても嬉しかったです。エリマキトカゲの肌はザラザラしており、ザ・爬虫類という感じがして面白かったですし、触り

心地がとても良かったです。野生動物プレゼンテーションで色々説明してくれた男性がエリマキトカゲのエリを広げて見せてくれて、これで威嚇をするのかと感心しました。触った時に優しくお腹を触ってみたらぶにばにばと触っていい感じがしました。他にもヘビを首に巻きました。巻いた時ヘビの肌がすべすべでひんやりしていたのでとても気持ち良かったです。そしてワニにも触りました。まだ小さい子でした。触ってみて背中側はゴツゴツしてい



て硬く、お腹側はツルツルしていて感触が違いました。あとは、フトアゴヒゲトカゲでトゲの部分に触ってみると意外にもやわらかくチクチクしなかったです。みんな目がそれぞれ模様が違くてとても綺麗で見て楽しかったですし、優しい子たちでしたので安心して触れ合えました。

次に私が楽しかったことは、クイーンズランド博物館で生き物の展示がすごく楽しかったです。特にヒクイドリの展示で周りには他の展示もありましたが、暗い中にライトが当たっていて、真ん中にショーケースの

中のヒクイドリが主役のようにあって、その雰囲気からすでに面白く、よく見る前にとっても楽しんでいました。もちろん見たのですが、とても細かくてすごいなと思いましたし、ヒクイドリの成鳥の足元には幼鳥のヒクイドリがいて、毛がパヤパヤしていて成鳥のがつりとした体つきの感じではなく小さくやわらかなイメージを持ちました。ヒクイドリの展示だけでなく記憶に残っているのが恐竜の化石の展示です。恐竜の化石は迫力で、見上げないと頭の方までしっかり見れなく、カメラではおさまりきれないほど大きかったです。私は小さい頃から博物館などが好きで昔はすぐに次の展示へと行ったりしていました。クイーンズランド博物館では一つの展示を隅々までよく観察していました。それぞれの生

き物が面白い柄だったり形だったり、特徴があり時間をかけすぎってしまった海の生き物の展示や虫の展示の所をあまりゆっくりと見れなかったのが心残りです。鳥類の展示が本当にすごく、目や羽などの部位が作り込まれていてポーズも色々バリエーションがあり見てとても楽しかったし面白かったです。あまり時間をかけて見れなかった場所では写真をたくさん撮らせていただきました。

次に楽しかったのはゴールドコーストに行ったことです。ゴールドコーストまではバスで行き、降りた場所は海が見えて海面がキラキラと輝いていて青く広くのびていても美しかったです。最初は有名な美しいフォトスポットで海を後ろに写真を撮りました。その後は街中を案内してもらい、フリータイムに

なった頃、私は実倫さんと一緒に買い物をしました。買った物は家族や友達へのお土産と、私

が使ったりする物です。家族や友達に渡す用にコアラのキーホルダーを買ったのですが、ゴールドコーストにあったお店にカングルーバージョンがあり、見つけられてとても嬉しかったです。お昼は朋莉さんと合流してお弁当を食べました。人が多くて少し酔ってしまいました。が、楽しく過ごせました。買い物も終わり集合時間まで時間があつたので、砂浜の方に行ってみました。砂浜の砂はサラサラで日の光で暖かくなっていたので、寝っ転がってそのまま寝てしまいたいと思いました。サーフィンをしている人が多く、やっぱり波が高いな、サーフィンをするにはもってこいの場所なのだ

ろうか？などと思っていました。

もちろん最初は不安なことがありました。多くの時間を一緒に過ごすホームステイ先の家族としっかり会話ができるのだろうかという気持ちや、忘れ物をしていないかなど心配事が多くありました。が、会話もなんとなくになってしまっていました。

私はこの短期留学をして後悔を一つもしていません。なぜなら私は素晴らしい経験をできたからです。具体的には今まで英語の授業で学んだことがステイ先の家族や現地の方とのコミュニケーションで生かされたし、街に行くと建物のデザイン、日本とオーストラリアでは、という感じで日本とオーストラリアで比べたりできて楽しかったです。この経験を将来の進学など



の時に使っていきたいと思います。

楽しかった10日間

南幌中学校1年 村上 蒼莉

私はこのオーストラリア留学を通していろいろなことを学ぶことができました。

オーストラリアに行く前は、はじめての海外でワクワクやドキドキで、オーストラリアでは何を買おうか考えてとても楽しみにしていました。ですが、8月3日オーストラリアに着いた日の夜、はじめは一ミリも考えていなかった親に会いたくありませんでした。

4日は、午前中勉強をした後にフェリーに乗って買い物をして行ったり、高いビルから市内

を見回したりして、一生忘れられない思い出ができました。特に、彩音が下がガラスの所でビリまわっていて、とても面白かったです。

オーストラリア8月5日になると今まで寂しかったのがだんだん慣れて、オーストラリアを楽しめるようになっていました。5日は、学校内で動物と触れ合いました。オーストラリアらしいコアラやカンガルーはいなくて少し残念だったけど、オーストラリアだけのワニやヘビもいて、私はヘビを首に巻い

て、冷たくて面白かったです。あと、ヘビの心臓のドクドクがちゃんとあって、なんか凄かったです。ワニやヘビ、イグアナなどを触るのはすべて初めての体験で良い経験になりました。

8月6日になると、慣れてきてよりオーストラリアを満喫できました。6日は、午前中少し勉強した後に、お昼からオーストラリアの端っこの方の小中学校すべてが一緒になっている日本ではあんまり見ない激レアな学校に行きました。トイレに行く時に、男女間違えて男子トイレに入りそうになったのがとっても面白かったです。行った時にまずパンケーキを遥花さんと作って食べました。量が多くてデイベットに食べるのを手伝ってもらいました。パンケーキが多すぎてお昼ご飯を食べるのに精一杯でした。最後の方に日本語

教室に行ってオーストラリアの人に日本語で質問してくれて友達ができました。「何のスポーツをしていますか？」などの質問を、最初は日本語で、その後に英語で伝えるなどの工夫をしてたくさんおしゃべりをしました。ホームシックにならない日だった！

7日は、今まで勉強を教えてくれたアニータとお別れしました。アニータの授業は時間が経つのが早く感じるほど楽しかったです。午前中勉強した後、午後から公園に行って遊んだ後にスーパールに行きました。公園では、4人ほどでバレーやバドミントンをやったり、遊具で鬼ごっこ的なゲームをしたりして、楽しい時間を過ごしました。スーパールではバレー部20人へのお菓子などを買いしました。

8日は、一時間ほど車に揺られて、ゴールドコーストというオーストラリアで有名な所に行きました。二時間ぐらい買い物したりビーチに行ったりして、体感は三十分ぐらいでした。オーストラリアでの一番の思い出になりました。久しぶりにビーチというか、海に行ったら忘れられない思い出です。

9日は、オーストラリアラストの日。いつも5時30分から6時に起きていたので、少しゆっくり起きて、4日に行った所に行って、また買い物をしました。行くのには、電車を使って移動しました。はじめて電車に乗って少しワクワクしました。2時ぐらいに家に着いて、早目にお風呂に入って、マザーに寄せ書きのようなものを遙花さんと書きました。寄せ書きいっぱい英語を書きました。感謝し

きれなくて、正直書くスペースが足りませんでした。夜はマザーとたくさんお話をして眠りにつきました。次の日が4時起きだったから8時ぐらいに寝ました。

10日は、5時ぐらいに学校に着き、マザーとハグをして見えなくなるまで手を振り、お別れしました。9時30分の便に乗って、9時間のフライト、TVなしで5時ぐらいに日本に着きました。日本とオーストラリアは季節が真逆なので、飛行機から降りた瞬間から暑さがモワッときて汗が出そうでした。帰ってきて食べる日本のたこ焼きは桁違いに美味しくて、無限に食べてられそうでした。日本のお米の美味しさは、やっぱり無敵です。オーストラリアにもお米はあったけど、少し味が違いました。

ホームシックなどで、すごく長く感じたオーストラリア生活は、今ふと思い返すとても早かったなと思いました。私の人生において、もうオーストラリアに行くことがないかもなので、すごい景色を見ることができたのは、間違いなく一生の思い出です。

後悔のない10日間のオーストラリアになって本当に良かったです。とっても楽しかったです。



オーストラリア報告書

南幌中学校3年 谷口 愛菜

私は今回の短期留学でたくさん
のことを学び、経験しまし
た。

まず1つ目に出発前は、水不
足でシャワールの時間が10分程
度と短いことや洗濯の回数が少
ないこと、家の中では靴を履い
て生活すると聞いていて不安
でしたが、私がお世話になった
ホストファミリーのお宅では、
シャワールの時間は20分程度と
聞いていた時間よりも長く、気
持ちに余裕をもって入ることが
できました。ただ、シャワール
ームの扉がなくて、気をつけて

使用しないと洗面所まで水浸し
になってしまったため少し大変で
した。靴は玄関のような所でサ
ンドルに履き替えて過ごしてい
たのですが、一日中何かを履い
て過ごすということは日本では
ない生活スタイルなので、慣れ
ることが難しかったです。

次に2つ目は、オーストラリ
アの街の景色がとてもきれいで
、建物は一つ一つ空を見上げる
ほど高く、都会的な一面もあれ
ば、すぐそばに緑豊かな公園な
どがあり、少しうらやましいな
と思いました。

3つ目は、現地で買い物をし
た時の物価と商品の大きさに違
いを感じました。手のひらサイ
ズの小さなコアラのキーホルダ
ーを買いたくて手に取ったとき
に、自分の予想をはるかに超え
る値段で戸惑ったけど、かわい
いので買っちゃいました。ま
た、スーパーに行く機会があ
り、お菓子コーナーを歩いてい
ると、並べられているお菓子一
つ一つが業務用サイズかと思っ
てびっくり、周りを見渡して
みると、お肉もパンも全て大き
くて、オーストラリアの人達は
こんなに食べられるのかなと思
いました。Grain wave
sという緑のパッケージのスナ
ック菓子を買ったところ大好評
だったため、もしオーストラリ
アに行く機会があったら是非食
べてみてほしいです。

4つ目は、学校であった出来
事で、私が一番印象に残ったの
は、オーストラリアに住んでい
る動物に触れあったことです。
最初は小さなトカゲから触って
しっぽの長い大きなイグアナや
鳥を触りました。でもヘビを首
に巻くのは少し怖かったです。
次にみんなで教会に行き、そこ
で先生がろうそくを使ってお祈
りしたので、私も見様見真似
でやってみました。ろうそくが
少し熱かったです。学校はすご
く大きくて、校内にエレベータ
ーがあるくらい広かったです。
でもこのエレベーターはすぐに
乗るか、一人が素早く乗ってポ
タンを押さないといけないくら
い速く閉まるので要注意です。
あと、校内に給水機があったの
で、水筒を持っていくと便利だ
なと思いました。授業で先生の
話す英語は滑らかにつながって

発音していて聞き取るのが難しかったです。表情やジェスチャーから少しでも読み取ることができ、こちらも単語で頑張って伝えることができました。

今回の留学を通じて、私は言葉の壁を乗り越える楽しさだけでなく、日本とは異なる文化などの違いを丸ごと受け入れる面白さを学びました。オーストラリアに行く前は失敗を恐れていた私ですが、自分から積極的に行動して、コミュニケーションを取ろうとする姿勢や度胸があったと感じています。そして何より、異文化を体験することがこれほどまでに面白いことなのだ、と気づけたことが最大の収穫です。オーストラリアで過ごした日々は「もっと広い世界をたくさん見てみたい」という、新しい好奇心を与えてくれました。いつかオーストラリア以外

の国にも行って、様々な国の人や文化に触れてみたいなどとも強く思っています。

たくさんの人とコミュニケーションを取り、異なった文化を知ることので得た積極性は、これからの私の学校生活や、さらにその先の将来において、とても参考になる貴重な経験だと思います。この学びを無駄にすることなく、今後の自分の成長につなげて、活かしていきたいです。

私がオーストラリアに行く機会をくれた教育委員会の皆様、そして行かせてくれた両親やおじいちゃんとおばあちゃん、温かく見守ってくれた添乗員の直井さん、私の受け入れ先になってくれたホストファミリーのみなさんに心から感謝したいです。



オーストラリアで学んだこと

南幌中学校2年 伏見 遥花

私はオーストラリアに10日間短期留学をしました。私は日本とオーストラリアの身近なものなどの違いについて知りたいと思い、応募しました。

1日目は出発前は緊張もありましたが楽しみな気持ちが強くなり、とてもワクワクしていました。成田空港からブリスベン空港に行く時には初めてこんなに長い時間飛行機に乗りました。あまり身動きがとれず、すごく大変でした。座ったまま寝るかんじなのであまり眠ることができませんでした。

次に2日目は空港に着くと持ち込み物の検査があつて緊張しました。オーストラリアは持ち込みが禁止のものがとても多い国だったので、木製のポストカードがひっかからないか心配でしたが大丈夫だったので一安心しました。飛行機から出るとオーストラリアは冬なので少し肌寒かったです。オーストラリアに着いてすぐに語学学校に移動しました。オリエンテーションと授業を受けました。先生たちがとてもフレンドリーで楽しく授業を受けられました。そして

ホストファミリーと会う時はとても緊張しました。けれど会った時に優しく接してくれてすごく安心しました。寝る時はとても寒かったです。2日目に分かった違いはオーストラリアの日差しが強く、目が痛くなるほどだということです。オーストラリアの紫外線の量は日本の6倍だということも聞いて衝撃を受けました。

3日目はレッスンとブリスベ市内ツアーでした。ブリスベ市内には高層ビルが立ち並んでいる中に歴史が感じられる教会などがあつてとても驚きました。クイーンズストリートモールにはオーストラリアにしかないお店もあつて見るもの全てが新鮮に感じられました。特にお土産屋さんにはコアラやカンガルーのぬいぐるみ、プーメランのキーホルダーなど、オーストラ

リアの可愛いお土産がたくさん置いてありました。3日目に分かった違いは日本と違ってトイレがガムのような甘い匂いがしたことです。どこに行っても同じ匂いがするのでみんなで疑問に思っていました。

4日目はレッスンと動物と触れ合う日でした。レッスンの時に動物について学んだので、さつき見たやつだ！と思いながら触れ合いました。鳴き声が人間の笑い声に聞こえるワライカワセミという鳥が特に面白かったです。4日目に分かったことは、日本では聞こえない鳥の鳴き声が聞こえてくることです。朝も夜中もすごく大きな声がたくさん聞こえてきました。外には七面鳥がたくさんいてびっくりしました。

5日目はレッスンと現地校訪問でした。現地校訪問ではパン

ケーキを焼いたり、日本語クラスで交流したりしました。パンケーキは失敗したところもあったけど、綺麗に焼けて良かったです。日本語クラスでは一緒に授業を受けました。日本語クラスみんなはとても日本語がうまくてびっくりしました。5日目に分かった違いは、チャイムの音が違ったことです。チャイムの音が日本と全然違ってびっくりしました。

6日目は修了セレモニーでした。英語のスピーチも上手いって良かったです。午後は公園で遊んでからスーパールに行きました。公園では現地の女の子と遊びました。楽しかったです。次にスーパールではオーストラリアならではのベジマイトもありましたが、日本の物も売っていました。6日目に分かったことは、スーパールが日本とは全然違

って、置いてある食材に唐辛子があってびっくりしました。

7日目はゴールドコーストと博物館に行きました。ゴールドコーストではサーファーズパラダイスの砂浜やショッピングをみんなと楽しみました。北海道では体験できないサラサラの砂に感動しました。博物館には宝石や動物の剥製などがたくさんあって、面白くすごく興味深かったです。この日はマザーに折り紙を作って渡しました。説明するとても喜んでくれました。7日目に分かったことは、冬でも海に入れることです。実際に海に入ってサーフィンしている人がたくさんいました。8日目はマザーと買い物に行きました。初めてオーストラリアの電車に乗りました。運賃が安くて日本円で70円でした。その日はお土産を買いました。

ブリスベンにはたくさんのお店があって日本の店もありました。この日はマザーに寄せ書きを渡しました。喜んでくれて一生懸命書いた甲斐がありました。8日目に分かったことは、電車の風景が日本と違うことで、固有の植物が生い茂って見えるものが初めてでした。

9日目はマザーとのお別れでした。朝早くに集合しました。マザーとは写真を撮り、ハグをしてお別れしました。飛行機に乗り成田空港へ出発しました。ホテルではお菓子パーティーをしました。楽しかったです。

10日目は新千歳に帰ってきました。大変だったけれどとても楽しかったです。

慣れない生活で大変なこともあったけれど、マザーの優しさやオーストラリアの人たちに助

けられて、とても良い経験になりました。またいつかオーストラリアに行きたいです。

最後に、今回の私たちの留学を応援してくださった教育委員会、名鉄観光、保護者、その他全ての関係者の皆様に感謝しています。ありがとうございました。



オーストラリアで学んだこと

南幌中学校3年 落合 恵唯

私は、8月3日から8月9日の7日間、オーストラリアのブリスベンへ留学に行きました。

私にとって初めての海外でも緊張しましたが、到着すると景色がきれいで、日本にはあまり見ない形の木がたくさん生えていてとても感動しました。着いてすぐシャフストン学校へ行き、お昼ご飯にサンドイッチとポテトを食べました。とても美味しかったです。その後は「ズートピア」の映画を見てポップコーンを食べました。夕方にはホストファミリーと対面し

ました。とても優しい人たちで安心しました。子供が二人いても元気でした。同じホストハウスで過ごす友達が、日本から持ってきた黒ひげ危機一髪でみんなと一緒に遊んでとても楽しかったです。

8月4日は午前中に英語のレッスンを受けました。先生の話す英語が速くて聞き取れなかったり、上手く話せなかったりすることもありましたが、精一杯頑張りました。午後からはブリスベ市内ツアーに行き、クイーンズストリートで買い物をして

した。移動でフェリーに乗ったり、綺麗な教会を見たりしました。クイーンズストリートでは家族や友達へのお土産を買ったりしました。途中でガチャガチャを見つけましたが、値段が高くて、日本との物価の違いにびっくりしました。ショッピングモールの化粧品売場にはキャンメイクが売ってたり、日本の曲が流れていたのが驚きましたが、なんだか嬉しくなりました。夕食にはお米が出てきて美味しかったです。

8月5日も午前中は英語のレッスンを頑張りました。午後からは野生動物と触れ合いました。ワニやトカゲ、ヘビ、モモンガ、イグアナ、カメ、鳥、ネズミなどたくさん動物がいましました。イグアナの皮膚はザラザラしていて凄かったです。ヘビを首に巻いたときは思っていた

よりも重くて動いていたので少し怖かったけれど、すごく楽しかったです。でも、動物の説明してくれている英語が全然聞き取れなくて悲しかったので、もっと英語を勉強しようと思いました。

8月6日の午後は、地元の学生と交流しました。学校に着いて驚いたのは、校舎や敷地がとても広かったことです。交流の前にみんなでパンケーキを作って食べたなら、とても美味しくできて楽しかったです。地元の学生は日本語を勉強中の人達で、日本についても質問をしてくれました。わからない単語があったり聞き取れなかったりしたけれど、ジェスチャーでなんとか頑張りました。「日本の動物力フェにはどんな種類があるの?」と聞かれたときは、あまり馴染みがなくて困りました

が、なんとか言えて良かったです。ホストハウスに帰ると、ホストファミリーからコアラのキーホルダーやペン、ハリボートのグミ、TimTamをプレゼントしてもらえてすごく嬉しかったです。夕ご飯のカレーも具がたくさん入っていてめっちゃ美味しかったです。

8月7日は、シャフストン学校の修了セレモニーがありました。短い間だったけれど楽しかったですし、英語が上達した気がしました。午後からは地元のスーパーで買い物をしました。その前に公園で遊び、友達と謎の木の実を探して割ったり、匂いを嗅いだりしました。日本のブランコとは少し違う形のブランコがあって面白かったです。その後IGAというスーパーでベジマイトやカラフルなお菓子を買いしました。NIVEAのリップ

クリームが可愛かったので自分で用と友達に買いました。

8月8日は、ゴールドコースト観光とクイーンズランド博物館へ行きました。ゴールドコーストのショッピングモールでお土産を買いました。プリ機があったので友達と三人で撮りました。カードで支払うことにびっくりしたし、撮影スピードが速すぎて焦ったけどすごく楽しかったです。外はよく晴れていて友達とサティーワンがありアイスを食べました。私は水色と白のバースデーケーキ味にしました。水色の部分が水飴っぽくて美味しかったです。コーンの縁にチョコスプレーがついているものを選びました。その後綺麗なビーチでお昼ご飯を食べました。砂がサラサラで青く、海鳥もたくさんいてかわいくて、写真を撮いっぱい撮りました。次

にクイーンズランド博物館に行きました。動物の剥製がたくさんあり、特に鳥が本当に飛んでいるような迫力があって面白かったです。時間が足りなかったです。

最後の日の8月9日は、ホストファミリーと一日中過ごしました。まずブレーン味のミートパイを食べました。いろんな種類がたくさんあって、外がサクサクで中が熱くてとても美味しかったです。次にコアラを見に行きました。思ったより小さくてかわいかったです。食事しているところも見れて写真を撮ると撮っていました。その後ビーチへ行き、ホストシスターと友達と一緒に魚を捕まえようと遊んだのが楽しかったです。夕焼けの海辺もとても綺麗でした。夕食に出たフィッシュアン

ドチップスも思ってたより美味しくたくさん食べました。

この留学での思い出は、絶対に忘れられない宝物になりました。この経験を活かしてもっと英語の勉強を頑張り、高校生になったらまた留学がしたいです。大人になったら海外旅行に行きたいです。このような機会をいただき、本当にありがとうございました。



自分の発見

南幌中学校1年 三浦 朋莉

私がオーストラリア留学に応募した理由は三つあります。

一つ目は今の私には英語力はないが、この先の将来に英語力が必要だと思ったこと。二つ目は知らない異文化の世界でどのように生活できるのか。三つ目はどのようなコミュニケーションが必要となるかを学びたいと思ったからです。留学中に頑張りたいことは、ホームステイ先で頑張っって自分の口で英語を話すことでした。

留学前はオーストラリアに行くのが楽しみでもとてもワクワク

していて、新千歳から成田までの飛行機でも余裕がありました。

でも成田からブリスベン行きの飛行機に乗ると、CAさんも英語で話していて、その英語すら聞き取れず、こんな私がオーストラリアに行っても大丈夫なのかと少し不安になりました。

ブリスベン空港について最初に驚いたことは、水が四ドルぐらいのことです。説明会でも水が貴重なことや物価が高いことは聞いていたけど日本と違う感覚でした。語学学校に到着し

オリエンテーションをした後、レベルテストを受けました。テストはもちろん全て英語で難しかったです。英語の授業はアニ

ータ先生が担当し、とても優しく教えてくれました。英語版ズートピアⅡの映画を見ていたらあつという間にホストファミリーと会う時が来ました。

ホストファミリーは中国出身で、家では中国語が飛び交い、オーストラリアに来たはずなのにここは中国？と少し思いました。英語も通じないけど中国語も大変で、ますます話ができるのか不安になりました。事前情報で子どもがいるとわかったので、お土産には折り紙作品を持っていきました。コミュニケーションのきっかけにホームステイ先でも一緒に折り紙を折るつもりでしたが、子どもたちは中国のおばあちゃんの家に遊

びに行っていてホームステイ中はほぼいなく、想像と違っていました。

三日目にレベルテストが返ってきました。八十点中三十五点と思っていたより点数が取れた感触です。午後は市内ツアーでフェリーに乗り展望台まで行きました。展望台は下がガラス張りで良い景色でした。

四日目は私が楽しみにしていた野生動物と触れ合う日でした。トカゲやワニ、鳥、モモンガ、ネズミやヘビなどを見て触り、一メートル程のヘビを首に巻く体験をしました。ヘビはひんやりしていてウロコはつるつるしていました。こんな体験は二度とないと思い楽しかったです。ただ、コアラやカンガルーは見れず残念でした。

五日目はアニータ先生がお休みで、代わりに少し日本語が話

せて「すげー」を知っている先生の授業でした。外国で日本語を知っている人に会うだけでテンションが上がりました。午後からは現地校訪問で違う学校に行きました。ここでは現地の学生の中に一人ずつ配置され、グループ活動となり、日本語での質問タイムでした。女の子はとも日本語が上手でしたが、男の子はまだ日本語を習い始めたばかりなのか、英語での質問に切り替わり、全く聞き取れませんでした。私の立場と逆バージョンだと思い、お互いに外国語を学ぶのは苦戦するのだと感じました。

六日目、私は語学学校の修了セレモニーで挨拶係でした。前日に考えたものを英語で発表しましたが、自分なりには良かったと思います。この日の夜は勇気を出してホストファミリーに

「一緒に折り紙をしよう」と提案しました。英語は片言だったけど、一時間ぐらい折り紙を折り、喜んでくれました。初めて自分からコミュニケーションが取れて挑戦してよかったです。

七日目は観光です。ゴールドコーストではお店を回り、クイーンズランド博物館では動物や恐竜の模型をたくさん見ました。帰宅し、この日初めてホストファミリーと一緒にご飯を食べました。メニューはお米と角煮などの五種類のおかずです。初日から水餃子やびんびん麺など、リーさんの作る中華料理はとても美味しかったです。

八日目はホストファミリーと一日一緒に過ごす日で、二箇所の公園に行きました。日本の公園とは少し違っていて、見たことのない遊具もありました。この日の夜、リーさんファミリーに

に感謝の気持ちを伝え寝ました。

今回の留学では楽しいこともたくさんありましたが、言葉も通じず、ホームシックにもなり、途中早く帰りたい気持ちになりました。留学中、できるだけホストファミリーと話すときは自分の口で話そうと思っていたけど、翻訳をしても読めず、話す・聞くもできず、自分からコミュニケーションをとるチャレンジが難しく、行く前のワクワク感を継続できませんでした。

留学を通して、これからはただ英語の勉強をするだけでなく、読む・話す・聞くことや積極的に声を出すようにしていきたいと思いました。また、不安な気持ちもたくさんあるけど、どこに行ってもその場所で挑戦したり、楽しんだりする方が得るものがたくさんあると感じま

した。英語力だけでなく、自身の発見にもつながり、良い学びがありました。



中学生国際留学プログラム事業

南幌中学校2年 和田 菜々美

私が今回この短期留学に参加しようと思った理由は、日本とは違う様々な文化や言語を知りたいなと思ったからです。ここからは、私がこの十日間でオーストラリアのどのような文化を知ることができたのか、どのような経験をしたのか、どんな出会いを経て自分の考えがどのように成長することが出来たかなどを、みなさんにお話しできたらなと思います。

一日目、出発式を終えた私たちは期待と不安を胸に新千歳空港に向けて出発しました。荷物

検査を通過してほっとしながら、お母さんの作ってくれたお弁当を食べて成田空港へ出発します。成田空港に到着して語学学校で挨拶する内容を考えながら、搭乗手続きまで時間をつぶしました。自分は成田空港が初めてだったので、その広さに驚きました。たくさんの観光客の方がいったり、アナウンスも色々な言葉だったので、すでに普段とは違う環境にいるように感じられました。もうこの飛行機に乗ってしまったと本当にオーストラリアに着いちゃうんだと、と

でもドキドキしました。飛行機の中でもアナウンスが英語だったり、地図で位置を確認したりなど、何もかもが初めてでその空間すべてが楽しかったです。

二日目、飛行機から見えるオーストラリアの朝焼けはとても綺麗でした。ブリスベン空港に到着して学校へ移動しました。最初はあまり国が変わった実感はなくて、でも、空港のスタッフの方に咄嗟に話しかけられた時、知っている単語で意味も理解できているのに言葉が出てこず、添乗員さんに助けを求めてしまっている自分がいました。こんなに言葉にするのは難しいのか、学校でもこんなふうになっちゃったらどうしようと少し不安になりました。学校に着いて学校を案内してもらいました。いろんな国籍の先生方がいて、オーストラリアの多文化共

生が感じられました。授業も担当の先生がずっとにこにこして何かボソッとつぶやいたときもしっかりこっちを見て聞いてくれて、一日楽しく勉強することができました。学校が終わってホストファミリーの方が迎えに来てくださいました。家に着くとお母さんと娘さんも出迎えて下さって、すごく受け入れてくれて安心しました。必要な事は何から何まで説明してくれて、自分が言葉につまったときも「ゆっくりでいいよ」と一生懸命理解しようとしてくださって嬉しかったです。翻訳に頼るときもありましたが、こんなに親切に出迎えて下さったので、その分、たくさんコミュニケーションをとって、日本のことを紹介してあげようと思いました。一日でたくさんの壁に直

面したのですごく長い一日でした。

三日目、お昼にチャーハンを作ってお弁当で持たせてくれて本当に美味しかったです。午後からはオーストラリアを観光しました。船がバスと同じような感覚で使われていてびっくりしました。街のどこを切り取ってもオシャレでした。人が多い所を歩いて思ったことは、みんな肌の色もまったく違うし、着ている服の系統も全然違う。でもみんな自分と違う肌の色の人を絶対に笑ったりしないし、むしろ国籍問わず誰もがお互いを尊重し合っている感じがしました。日本では周りと違うことを恥ずかしく感じたり、不安に思う方が多いかと思いますが、この多文化共生のオーストラリアだからこそできる、互いに尊重し合う文化、私はこれがオース

トラリアの一つの魅力だと思います。

四日目、この日の授業は結構スピードが速くて答えられない場面が多かったです。自分ばかりじゃないときに沈黙してしまっただので、次からは気をつけようと思いました。その後に動物が学校に遊びにきてくれました。オーストラリアは動物をととても大切にしている、めずらしい動物にもたくさん出会えました。その後の映画クラスで観た映画がオーストラリアと似ているなと思いました。みんな仲間で運命共同体、誰にでも平等に優しく生きやすい世界を作ってあげている。みんながきちんとルールを守っているからこそ、こういう世界ができるのかなと思いました。

五日目、この日は地元の学生と交流してきました。日本語教

室の子たちはみんな日本語上手でちゃんと眼を見て話してくれて嬉しかったです。放課後、地元のスーパードに連れてってもらいました。物価が高いと聞いていましたが、そもそも量もサイズも大きいのですごく安いなど感じました。

六日目、最後の授業でした。自分がどれぐらい成長したのかはわかりませんが、今日も昨日より喋れたを毎日更新できたし、翻訳力、思ったことを言葉にする力は身に付いたと思います。卒業パーティーも用意してくれました。

七日目、お土産をたくさん買いました。今まで大丈夫だったけど、お土産を買う時にみんなの事を考えると会いたくなってきました。ビーチで作っていただいたお昼を食べました。

八日目、たくさんのお土産屋さんで連れてってくださいました。おかげでたくさんお土産を持ち帰ることができました。最後の最後まで優しく、たくさんのお話もしてくれました。意味が理解できずしっかりと返事を返すことができていなかったかもしれないが、ホストファミリーの方が親切に聞いてくれたので「次もまた話しかけよう」「次は何の話をしようかな」と、また次もという考えに繋げることができました。他にもこの短期留学で生まれ、見た目に問わず互いに尊重し合うこと、誰にでも平等に優しく

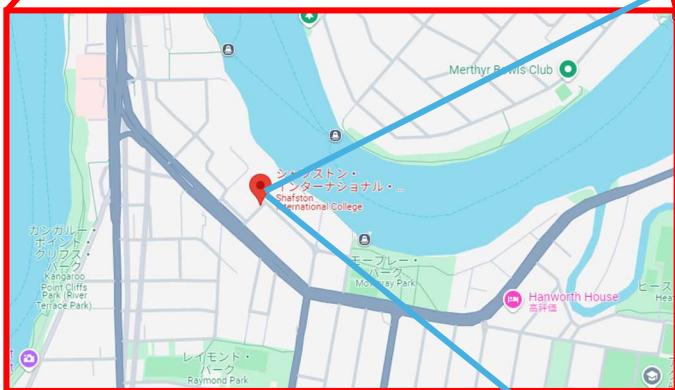
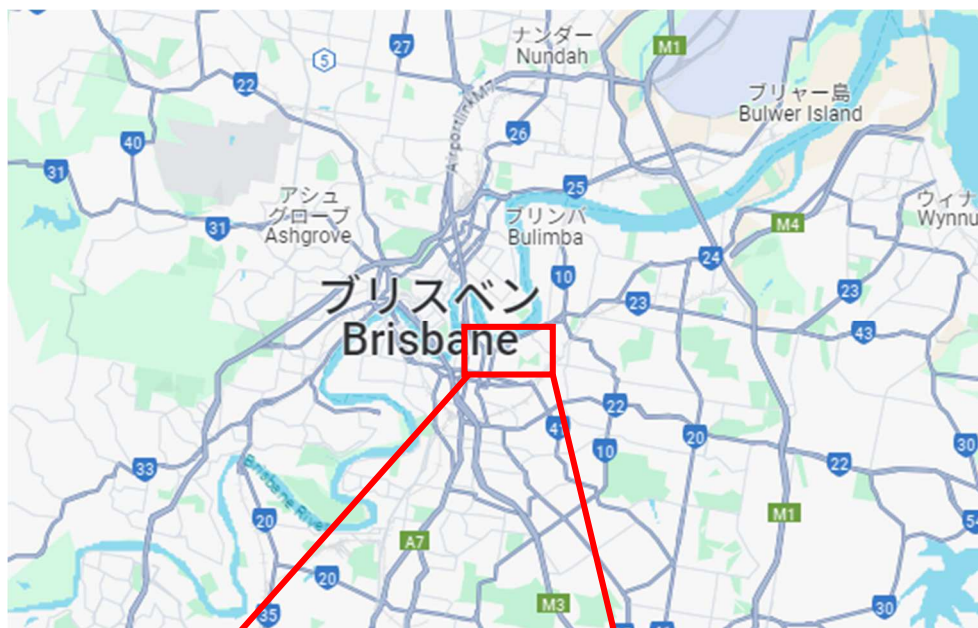


接することを当たり前にできるようにしたいという考えに成長することができました。みんながこういう考えを持つようになると、周りと違うことに恥ずかしさや不安を感じる必要がなくなると思います。

たくさんの経験をし、学び、出会いを経て、力をつけて帰ってこれた留学だったと思います。



地図



行程表（2026 年）

日 次		都 市 名	現地時間	交通機関	ス ケ ジ ュ ー ル	食事
①	8月2日 (日)	新千歳空港発 成田空港着 成田空港発	12:55 14:30 20:50	GK112 JQ010	新千歳空港から成田空港へ (フライト時間：1時間35分) 出国手続きをして、成田空港からブリスベン空港へ (フライト時間8時間55分) 《機内泊》	昼：－ 夕：機
②	8月3日 (月)	ブリスベン空港着	6:45	専用車	ブリスベン空港到着後、入国手続き 荷物受け取り後、学校へ移動 ウェルカムオリエンテーション レベルテスト・キャンパスツアー アート&クラフトアクティビティ&映画クラス 夕方ホストファミリーと対面し、各家庭へ 《ホームステイ》	朝：機 昼：○ 夕：○
③	8月4日 (火)	ブリスベン		送迎	英語レッスン(3時間) ブリスベンの市内ツアー・クイーンズストリートモール等見学 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
④	8月5日 (水)	ブリスベン		送迎	英語レッスン(1.5時間) オーストラリアの野生動物プレゼンテーション、映画クラス 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
⑤	8月6日 (木)	ブリスベン		送迎	英語レッスン(3時間) 半日地元の学生と交流 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
⑥	8月7日 (金)	ブリスベン		送迎	英語レッスン(3時間) 修了セレモニー、地元のスーパーでショッピング 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
⑦	8月8日 (土)	ブリスベン		送迎	ゴールドコースト観光・クイーンズランド博物館見学 (サーファーズパラダイスなどを観光) 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
⑧	8月9日 (日)	ブリスベン			ホストファミリーと過ごす 《ホームステイ》	朝：○ 昼：○ 夕：○
⑨	8月10日 (月)	ブリスベン ブリスベン空港発 成田空港着	6:00頃 9:30 17:40	送迎 JQ009	ホームステイチェックアウト、ミートポイント集合、空港へ ブリスベン空港から成田空港へ (フライト時間：9時間10分) 《成田東武ホテルエアポート 泊》	朝：○ 昼：機 夕：－
⑩	8月11日 (火)	成田 成田空港発 新千歳空港着	14:00 15:50	GK113	ホテルから成田空港まで無料シャトルバスで移動 成田空港から新千歳空港へ (フライト時間：1時間50分)	朝：○ 昼：－

現地の様子（写真）



育てる喜び、育む **幸**せ。

令和8年9月発行

南幌町

編集・発行 南幌町教育委員会 TEL:011-378-6620

TOWN NANPORO

〒069-0237 北海道空知郡南幌町栄町3丁目3番1号

中学生国際留学プログラム事業には南幌町を応援されている皆さんの寄附金が活用されています。